

中学校部活動の状況について

R 5. 5 教育総務課

これまで、部活動は、参加する生徒にとって、スポーツや文化芸術等の活動を通じて、学習とは異なる集団での経験や人間形成、豊かな学校生活を実現する場として重要な役割を担ってきました。

しかしながら、少子化の進行に伴い、本市でも各学校単位での部活動の維持が困難になったり、活動・指導経験のない教員が部活動を指導せざるを得ないことで、生徒の多様なニーズに応じた指導が難しくなっている状況があります。

1 部活動数について

運動部活動 陸上、水泳、男女バレーボール、男女バスケットボール、サッカー、軟式野球、ソフトテニス、卓球、剣道

文化部活動 合唱、吹奏楽、美術

※廃部の状況について

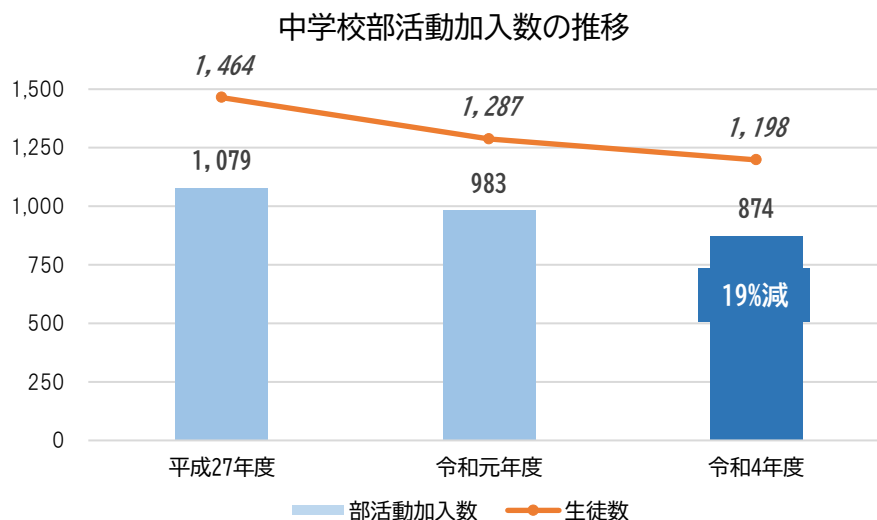
岡谷西部中学校 男子バレーボール部、軟式野球部（平成 29 年度）、ソフトテニス部（平成 30 年度）、女子バレーボール部（令和 4 年度）

岡谷北部中学校 剣道部（令和 4 年度）

2 部活動加入者数の減少

少子化による生徒数の減少に伴い、市内中学校の部活動加入数は、平成 27 年度の 1,079 人から令和 4 年度には 874 人となり、7 年間で約 19%、205 人減少しています。

また、一つの学校ではチームが成り立たず、近隣の中学校との合同練習や大会への出場が増えていきます。



※中体連夏季、新人大会における近隣学校との合同による大会参加の状況（令和 4 年度）

岡谷西部中学校 女子バレーボール（諏訪西中）、サッカー（下諏訪中）
男子バスケットボール

岡谷南部中学校 女子バレーボール（永明中）